



「庭木元気」

植物が摂取しなければいけない、いわば「木の主食」とも言える主栄養を配合。花や実をつけ、丈夫で美しい庭木を育てるのに必須の肥料です。

【使用目安】

- ・庭木（幹回り10cm）の場合は、3本分、あるいは、寄せ植え庭木の場合は、3㎡の土の庭木分
- ・幹回り10cmの庭木につき40g、又は、1㎡の土につき40g を使用

【使用方法】

- ・葉張りの下あたり（根先のあたり）の土にパラパラとまきます。
- ・1年に1、2回施肥時期にご使用ください
- ・「庭木のツチトコ」とセットでのご使用をお勧めします。
- ・庭木の植え付け、植え替え時は、根付いてからご使用下さい。
- ・花実をつける木、栄養が少ないやせた土には特に必要です

【成分】

庭木に必要な三大要素（窒素、リン酸、カリ）、ケイ酸

- 窒素：植物の体を作るたんぱく質や光合成に必要な葉緑体などの構成要素
- リン酸：開花・結実をはじめ、植物全体の生育、枝分かれ、根の伸長などを促す
- カリ：葉からの水分蒸散調節、根や茎を強く、病害虫や寒さに抵抗力をつける
- 可溶性ケイ酸：耐病、耐虫性、耐倒性などを高め、根を活性化

*注意事項

- ・葉だけの木（松など）は年1回までの使用にとどめてください。
- ・花や実を付ける木は年2回までの使用にとどめてください。
- ・日の当たらない風通しの良い冷暗所、お子様の手の届かない所に保管してください。

花と実の付きが良くなり元気になりました

オリーブの使用事例



施工後の様子

前年より木の勢いが増し、花の数が増えました

ツツジの花芽増加



使用前

使用后



庭木元気 120g (40g × 3袋)
¥1,430円(税込)



庭木元気 お徳用 400g
¥3,190円(税込)

施肥時期のいろいろ(ご参考) 「庭木元気」を適切な時期にご使用ください。

元肥(基肥): 植えつけ・植え替え時

寒肥(1月~2月): 庭木、花木、果樹が休眠している冬期に施すと、春先に新芽が動き始める頃、植物が吸収できるように分解される

追肥(年に数回に分けて): 生育期間の長い植物や生育旺盛な植物には、元肥だけでは足りなくなるため

芽出し肥(3月~4月): 春、根や萌芽、枝の伸長を助けるため

お礼肥: 花が終わったあとや、果実を収穫したあとの植物の体力補給のため

製造・発売元

株式会社 樹木新理論

TEL 0877-24-2080 FAX 0877-24-2568

HP. <http://www.jumoku.jp>

info@jumoku.jp

